

政策	1 グローバルロジスティクスの港	施策推進 責任者	企画調整室長 港営部長
基本施策	01 国際・国内海上輸送機能の強化		
個別施策	03 完成自動車取扱機能を再編する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	完成自動車輸出入メーカー、港運、船社
	サービスの対象物(何を)	金城ふ頭及び弥富ふ頭の公共岸壁・保管用地
	意図(どういう状態にしたいのか)	完成自動車輸出入を効率的で円滑な取扱ができるようにする
内容	公共ふ頭からの完成自動車輸出入は、金城及び弥富の両ふ頭を中心に行われていますが、金城ふ頭東側においては、交流機能への展開を進めており、その状況を踏まえて完成自動車取扱機能の再編を行っています。また、弥富ふ頭においても、物流機能の強化を図り、完成自動車が効率的で円滑に取り扱えるようにしていきます。	
目標	公共ふ頭(金城及び弥富ふ頭)での完成自動車取扱量の増加を図ります。	目標達成に影響する外的要因等
		世界の景気動向による貨物量の減少

成果指標	実績等	年								目標 平成25	指標の説明(式)
		平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25				
公共岸壁での完成自動車取扱貨物量(金城ふ頭及び弥富ふ頭の公共岸壁)	実績	千トン	6,340	2,829	4,745	4,910	5,565	6,125	7,100	・目標値は、直近(平成19年)の最高実績値への回復を目指して設定 ・コンテナと輸出トランシッ プは含まない	
	達成率	%	89.3	39.8	66.8	69.2	78.4	86.3			
	実績										
	達成率	%									

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果				
					実績	実績	実績	実績	実績見込み	平成25年度までの状況 ※1			平成26年度以降の取組の方向性			備考(判断の理由等)	
					上段:指標達成状況								事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4		
					下段:事業費(千円・人件費込)												
○	(企画調整室)計画担当	完成自動車輸送基地再編計画の策定(港湾計画の策定)(個03事01)	名古屋港の完成自動車輸送基地の再編方針に基づき、名古屋港における完成車取扱機能の施設配置を検討します。	策定進捗率(%)	18.5	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9	123,700	100 累計 (H25)	遅れ	延伸・統合	→	→	・社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていくため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。
	(港営部)港営課	金城地区における完成自動車輸送基地の再編(個03事02)	利用者に名古屋市のものづくり文化交流拠点構想に伴う完成自動車蔵置場所の移転について説明し調整を行います。	対象利用者の移転完了数(件)	3	1	1				12,917	5 累計 (H22)	完了				目標を達成したため。
	(港営部)港営課	金城地区における完成自動車取扱機能の強化(個03事03)	自動車専用船の岸壁利用を促進するため、荷役機械(ガントリークレーン)の移転、撤去を行い、背後ヤードの利用調整を行います。	岸壁利用可能延長数(m)				660	760		564,053	760 累計 (継続)	完了				継続事業ではあるものの、当面の整備目標は達成したため。
施策コスト(事業費合計)					6,139	5,149	12,015	524,765	84,644	67,958	700,670						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。
注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として平成25年度を中間目標として設定しています。

※1

記入	内容
完了	前年度以前に完了した事業
順調	80%以上の進捗度合
やや遅れ	60%以上の進捗度合
遅れ	60%未満の進捗度合

※2

記入	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
統合	他の事業とまとめ、一体的に評価することが妥当
休廃止	終期を設定し事務事業を廃止または休止することが妥当

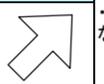
※3

記入	内容
拡大	何らかの改善策の実施により成果の拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由で成果を縮小するもの

※4

記入	内容
拡大	成果の拡大(または維持)のためにコストの拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由でコスト縮減を図るもの

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

次期政策体系への方向性	「次期政策体系への方向性」を判断した理由(本組合財政収支への影響の考察を含む)	
成果※3	コスト※4	 
<p>・現政策体系のもと、金城ふ頭コンテナターミナルの利用転換などにより一定の成果をあげましたが、次期政策体系においては、金城ふ頭における完成自動車ハブ機能の充実・強化など新たな取り組みに向けて成果を上げる必要があるため。</p>		
次期政策体系への展開(個別施策の構成、新規事業の創出、事務事業の見直し等)		
<p>・輸出車だけでなく、海外からの逆輸入車やトランシッブ車にも対応した完成自動車取扱機能の拠点化や効率化を目指した再編計画(港湾計画)は、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいきます。</p> <p>・引き続き、完成自動車のさらなる効率的で円滑な物流の実現を目指し、関係者調整や施策の具体化を目指していきます。</p>		

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

現政策体系における主な取組など	現政策体系における課題認識など
<p>・完成自動車輸送基地再編計画の策定(港湾計画の策定)については、パブリックコメント等を実施し、基本計画の方針、施策展開について検討しましたが、国の新たな成長戦略や総合物流施策大綱など、将来動向を見極めながら計画内容を検証していくこととしたため、平成25年度の改訂は行いませんでした。</p> <p>・完成自動車取扱機能強化を図るために、新たに事務事業を設け、金城コンテナターミナルの利用転換(コンテナ⇒完成自動車)を促進しました。</p> <p>・金城コンテナターミナル跡地については、荷役機械の撤去や移設により、自動車専用船が利用する水際線を広げました。(平成23年度)また、コンテナヤードとして使用していた荷さばき地については、不陸整備によって完成自動車がより安全に取り扱えるようになりました。(平成24年度)</p>	<p>・完成自動車輸送基地再編計画の策定(港湾計画の策定)については、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいく必要があります。</p> <p>・完成自動車は名古屋港の主要貨物のひとつであり、更なる効率化を目指すため、金城ふ頭における取扱機能の強化に取り組んでいく必要があります。また、弥富ふ頭においては、引き続き、円滑な取り扱いを継続していく必要があります。</p>
現政策体系における事務事業の適正性	
<p>・施策の実現のためには、事務事業を追加する必要があります。</p>	